



子育て中のお父さんお母さん、みなさんへ

家庭教育情報通信

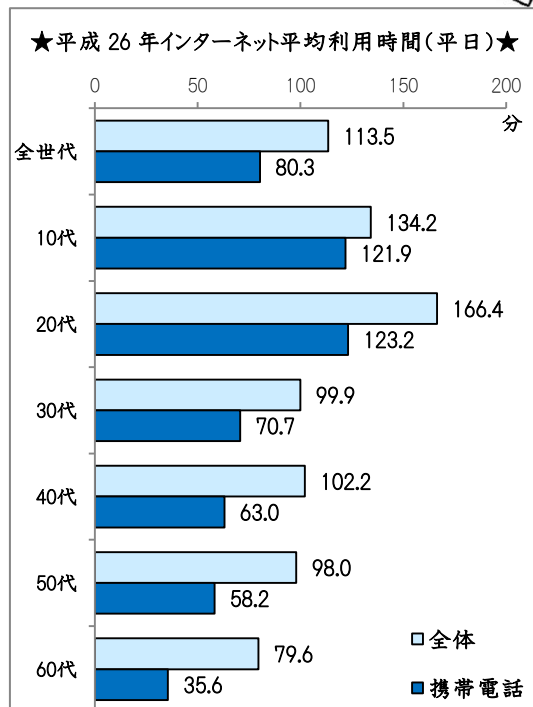


第31号

盛岡市教育委員会
生涯学習課
平成27年10月5日

☆家庭教育情報通信のバックナンバーは、盛岡市ホームページで読むことができます。（“家庭教育情報通信”で、サイト内検索）☆

情報通信機器を上手に使おう！



平成26年情報通信機器の利用時間と情報行動に関する調査報告書（情報通信制作研究所）を加工して作成

情報通信機器*をお使いのみなさん、1日にどのくらい利用していますか？ これは、昨年11月に行われた全国調査結果から作成した、利用者一人当たりの1日のインターネット平均利用時間のグラフです。携帯電話は、スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた時間です。この利用時間は、多い印象でしょうか？ 少ない印象でしょうか？

情報通信機器の発展によって、今まで時間と労力を使って行っていた様々なことが、簡単に一瞬でできるようになりました。その反面、楽しさや手軽さからつい長時間使い続けてしまうこともあると思います。使いすぎかなと感じている方は、何分使ったら機器を休めるなど、利用時間にメリハリをつけましょう。

前号では、家族とふれあう時間を大切に！ というお話をしました。情報通信機器＝ふれあう時間を邪魔するもの、ではありません。機器だからできること、機器を使わないから意味があることなど、上手に使い分け、活用しながら、家族との時間を作りましょう。

ソーシャルメディアの使い方を再確認しましょう。

LINE Facebook Twitter など



上のグラフに使用した、「平成26年情報通信機器の利用時間と情報行動に関する調査報告書（情報通信制作研究所）」によると、スマートフォンを所有している人の91.6%がソーシャルメディアを利用しています。みなさんはどうでしょうか？

ソーシャルメディアも便利で楽しいものですが、インターネットの特性とリスクを理解していないと安全に活用できません。「炎上」や「晒しあげ」と言われるように、ターゲットになってしまった瞬間に、投稿内容やプロフィール、特定された自分や家族の情報が、猛スピードで広がります。勘違いでターゲットにされることもあり、そのような事態がいつ自分に降りかかるかわかりません。

インターネット上に一度公開したものは、完全には削除できません。個人情報も写真も投稿内容も残ります。そのことを忘れずに、公開・投稿する前に、誰の目にふれても問題のない内容であるか、公開範囲はこれで良いか、一度見返しましょう。インターネットはいろいろな人が利用する公共の場です。情報の真偽を判断し、モラルやマナー、ルールを大切にしながら利用しましょう。

メッセージアプリを利用する場合は、相手の状況と性格を思いやる心を忘れずに☆



いちばんすてきな本は、お父さん・お母さんの声で読む本だ。

よみかきおすめえほん



前号に引き続き、絵本の紹介です。年齢は目安です。



3歳からの絵本。男の子はよくまと一緒にお母さんを探します。かわいらしい『よるくま』（酒井駒子、偕成社）は、働くお母さんたちの心もそっと包み込みます。



4歳からの絵本。おうちに置いてきぼりにされた、ぬいぐるみのほげちゃんが大暴れする『ほげちゃん』（やぎたみこ、偕成社）は、大人も楽しめる絵本です。

※ 情報通信機器＝スマートフォン、フィーチャーフォン、タブレット、パソコンなど、インターネットを使用する機器。